

いま準備しよう、災害に備えて

1 情報の入手方法を確認

夏は台風と集中豪雨に注意

宇美町は、面積の約7割を標高1000〜2000m級の山地・丘陵に囲まれており、集中豪雨や台風などによる「土砂災害」や「河川氾濫」「地震」による建物倒壊や火災などの被害が想定されます。

特に、今の季節においては、数多く発生する台風、突発的・断続的な集中豪雨に対して注意が必要です。

いざというときに備えて、テレビやラジオ、インターネット、町の防災行政無線放送などによる情報の入手方法を確認しましょう。



インターネットによる情報入手

宇美町防災気象情報

- 雨量・河川水位 ●ライブカメラ
- 災害速報 ●気象警報・注意報
- 防災行政無線の放送内容

パソコン・スマートフォン・タブレット
<http://www.jwaq.net/umi/>
 従来型の携帯電話
<http://www.jwaq.net/umi/k/>

福岡県 土砂災害危険度情報

- 土砂災害危険度情報 ●土砂災害警戒情報

パソコン・スマートフォン・タブレット
<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/>

福岡管区気象台

- 気象予報 ●気象警報・注意報
- 今後6時間の降水予想 ●高解像度降水ナウキャスト

パソコン・スマートフォン・タブレット
<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>

メールによる情報入手

防災メール（宇美町配信）

- 災害・避難情報 ●氾濫危険水位を超えたとき
- 気象警報が発表されたとき
- 防災行政無線の放送内容

空メール送信（事前登録が必要です。登録無料）
entry-umi@bousai-mail.jp

防災メール・まもるくん（福岡県配信）

- 防災気象情報、避難勧告
- 災害時の安否確認情報通知
- 地域の安全に関する情報
- 福岡県避難支援マップ

空メール送信（事前登録が必要です。登録無料）
mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

緊急速報メール（エリアメール）

- 災害・避難情報 ●緊急地震速報 ●特別警報

特定地域内の全てのスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信されるメールです。一時的に滞在している方、観光や仕事で訪れている方も受信できます。
 ※事前登録は不要です。月額使用料や受信料は無料です。

2 避難のタイミング

早めの避難を

自宅などに浸水し始めてからでは、逃げ遅れる恐れがあります。下図の情報が発表されたら、すぐに避難しましょう。なお、危険を感じたら、避難勧告などの指示や避難所の開設を待たずに、緊急避難場所などの安全な場所に避難してください。また、家族が離ればなれになったときには、自宅にメモを残したり、電話会社から提供される災害用伝言サービスなどを活用したりして、家族の安否を確認することも大切です。

命を守るために、日頃から浸水が想定される範囲や避難経路・方法などを確認し、いざというときに備えましょう。

土砂災害警戒情報

- 長い間、雨が降り続けているときや、急な大雨が降ったとき、山などに多くの水分が含まれることで、今にも土砂災害が起こりそうなときに発表される情報です。
- 避難行動を開始するタイミングとなります。
- 避難勧告が発令されていなくても、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難勧告など

- 避難準備・高齢者等避難開始**
- 土砂災害警戒区域内に居住する方、避難に時間を要する方は、早めに緊急避難場所へ避難してください。
- 避難勧告**
- すぐに避難してください。
- 避難指示（緊急）**
- まだ避難を終えていない方は、すぐに避難してください。
- 避難が危険な場合は、屋内で安全確保をとってください。

防災行政無線の放送が聞こえなかったり、聞き逃した場合に、電話で放送内容を確認することができます。
 （通話無料）

ヤクバ ニゴゴ

☎0120-898-255

3 どこに避難するか

避難する場所として、災害の危険から一時的に逃れるための「緊急避難場所」と、避難生活を送るための施設である「避難所」があります。

危険を感じたら、避難勧告などの指示や避難所の開設を待たずに、「緊急避難場所」などの安全な場所に避難してください。「避難所」の開設状況については、防災行政無線放送などでご確認ください。「緊急避難場所」および「避難所」の詳細は、各世帯に配布しております「宇美町土砂災害ハザードマップ（改訂版）」や、町ホームページなどで確認できます。

▼町ホームページ <https://www.town.umi.lg.jp/>

4 非常時の持ち出し品

非常用持ち出し袋の準備を

避難所などに避難した際に、当面の間必要となる最小限の品を入れた袋が「非常用持ち出し袋」です。袋の中に入れておく品を、下図に示しましたので、自分にとって必要なものを考えてリュックなどに納めて準備してください。



非常持ち出し品

☑ラジオ ☑予備の電池	☑ヘルメット ☑ヘルメット ☑軍手・皮手袋	☑飲料水 ☑飲料水	☑衣類・下着・靴下	☑通帳・印鑑 健康保険証 現金 など
☑ヘッドライト または懐中電灯	☑ロープ	☑非常食 ☑非常食	☑タオル	☑必要に応じて ・常備薬 ・救急用品 ・洗面用具 ・粉ミルク、哺乳瓶 ・紙おむつ など

5 備蓄品の準備

少しだけ多めの買い置きを

災害が発生したとき、なにより不可欠なものが、食料品や生活必需品です。特に、大きな災害が起これば、電気・ガス・水道などのライフライン被害や、救援物資を供給するインフラの寸断が想定され、行政や消防などの支援が行き届くまでに時間がかかることが想定されます。最低3日分、できれば5日分の「備蓄品」を備えておくことが重要です。

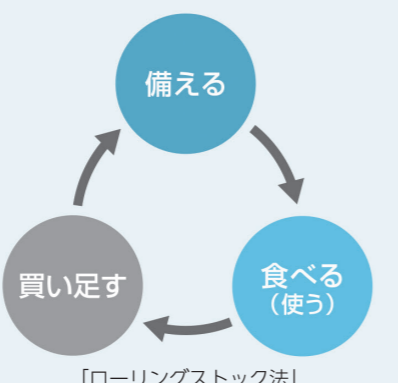
下図にある備蓄のポイントを参考に、日頃から食料品や生活必需品を少し多めに購入し、古いものから使いながら、常に一定量の備蓄がある状態が望ましいです。

いざというときに生きのびるための備えをしましょう。



備蓄のポイント

- 非常食の備蓄方法として「ローリングストック法」があります。
- 普段から少し多めにレトルト食品などを買って置き、使った分を新しく買い足すことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。
- 災害時には、ガスや電気、水道が止まることもあるため、「カセットコンロ」と「カセットボンベ」も合わせて用意しておきましょう。



「自分たちができることを」 町立中学校生徒が募金活動

宇美中学校、宇美東中学校、宇美南中学校の3校で、九州北部豪雨で被災された方を支援するため、生徒の自主的な発案による募金活動が行われました。宇美東中学校では、生徒会役員の呼びかけにより集まった約40名の生徒で、7月18日、19日の2日間、JR宇美駅前と西鉄ストア内、宇美町役場で募金活動を行いました。手作りのパネルを持ち、大きな声で呼びかけを行いました。集まった義援金は、宇美町社会福祉協議会を通じて被災地に送られます。



募金を呼びかける宇美東中学校生徒

問い合わせ
総務課
安全安心係
☎932-1111

